

だれでもできる A納図[A-NOTE]

1

基本操作 / 作図編

A納図 [A-NOTE] 基本操作マニュアルは、3冊に分かれています。

1. 基本操作 / 作図編

画面説明や基本的な機能をご説明しています。

2. 図形編集編

縮尺合せや図形を編集する機能をご説明しています。

3. 土木 / その他編

土量集計など土木専用機能をご説明しています。

目 次

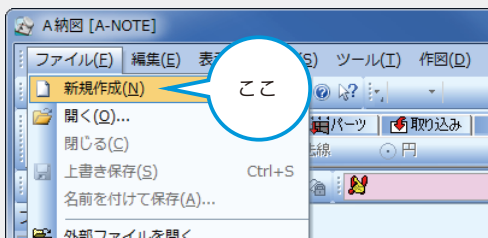
01	新規で図面を作成する	1	14	ハッチングをかける (パターン)	15
02	マルチボックス・コマンドについて	2	15	文字を入力する	16
03	プロパティボックスについて	4	16	寸法線を描画する	17
04	スタイルツールバーについて	5	17	引出し線を描画する	18
05	右クリックメニューについて	6	18	円を描画する	19
06	操作を元に戻す / やり直す	7	19	円弧を描画する	20
07	図面を拡大・縮小表示する	8	20	楕円を描画する	21
08	線を引く	9	21	基準点を描画する	22
09	ボックスを描画する	10	22	距離点を描画する	23
10	垂線を引く	11	23	平行線を描画する	24
11	スナップツールバーについて	12	24	範囲を指定して図面を印刷する	25
12	ハッチングをかける (塗り)	13	25	用紙サイズを変えて印刷する	26
13	ハッチングをかける (ライン)	14	26	図面を保存する	27

新規で図面を作成する

新しく図面を作成するために、新規にデータを開きます。

コマンド

[ファイル] → [新規作成]



操作手順

1 コマンドを選択します。

2 新規図面を設定します。



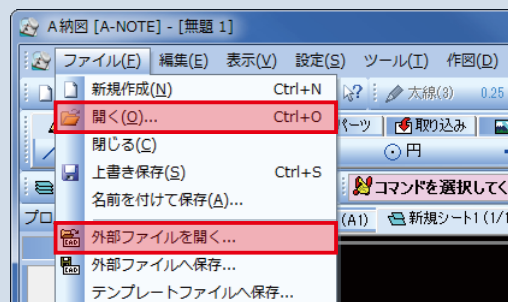
図面データを開く場合

■ デキスパート内に保存している図面を開く
[ファイル] → [開く]

■ 外部保存している図面を開く

[ファイル] → [外部ファイルを開く]

※ 拡張子が ANT、dwg、dxf、hoc、jwc、jww、jws、jwk、RKZ、p21、sfc、p2z、sfz など



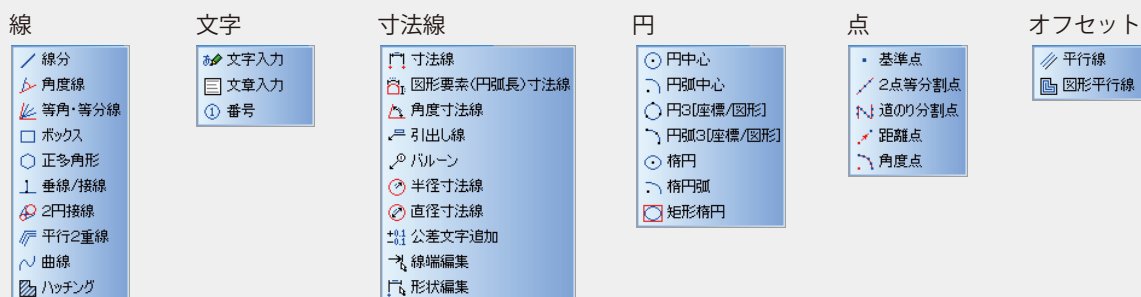
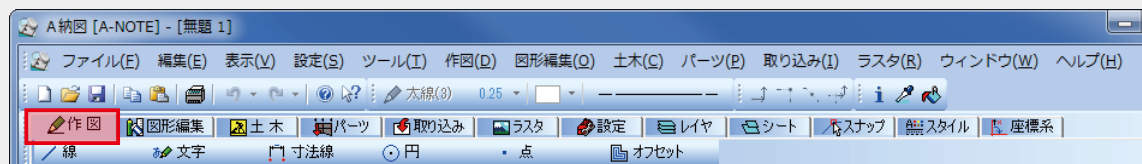
マルチボックス・コマンドについて

操作の多くはここからはじまります。

タブ内のメニューに各コマンドが分類されています。

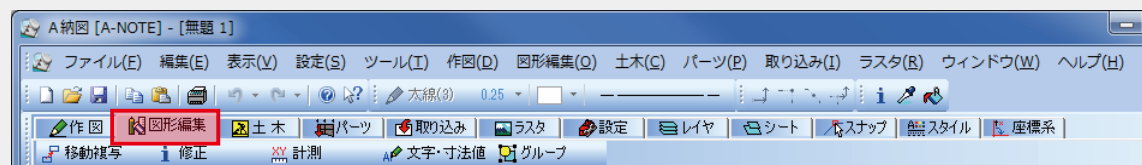
「作図」タブ

線や図形、文字などを描画するためのコマンドです。



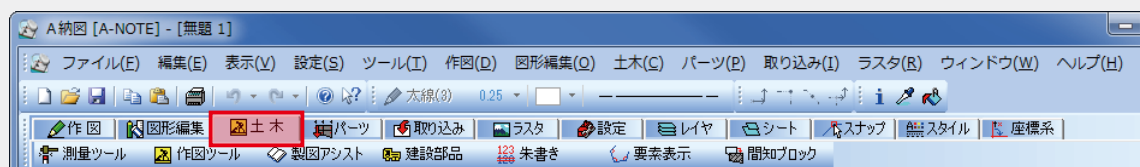
「図形編集」タブ

図面上に描画されているものを編集するためのコマンドです。



[土木] タブ

土木の作業でよく使われる便利機能のコマンドです。

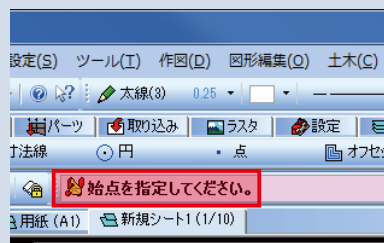
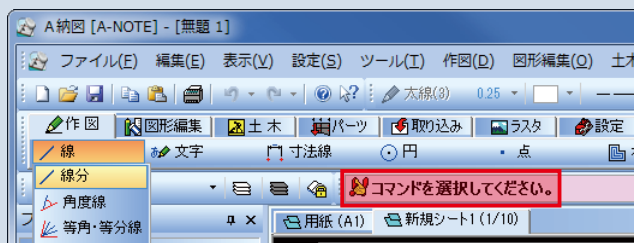


そのため、目的のコマンドの位置を覚えやすい配置になっています。

ガイドメッセージについて

コマンドごとに、次に行う操作方法が表示されます。
メッセージに従って操作を進めてください。

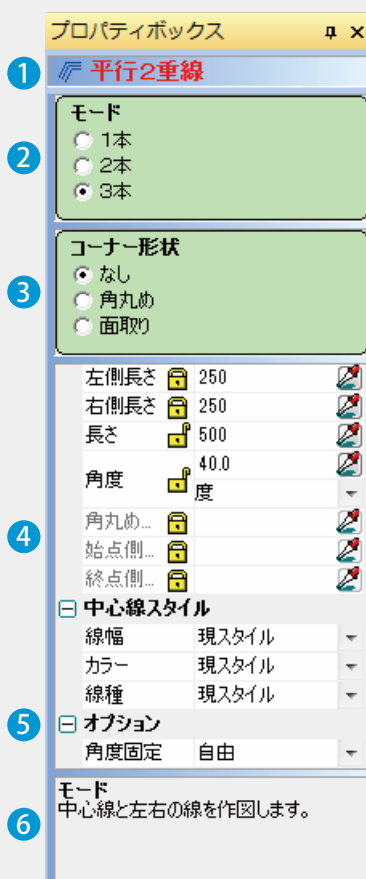
例) [線分] コマンドを選択した場合のガイドメッセージ



プロパティボックスについて

プロパティボックスでは、マルチボックスから選択した各コマンドを設定します。
※選択したコマンドごとに表示される項目が異なります。

プロパティボックスの概要



1 コマンド名

選択しているコマンド名が表示されます。

2 モード

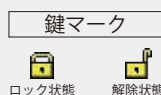
選択しているコマンドのモードを選択します。

3 形式・形状

選択しているコマンドの描画方法や表示形式を選択します。

4 設定

文字や数値の入力や、スタイル・色の設定をします。



入力した数値をロック（数値保持）する機能です。
クリックするとマークが切り替わります。
続けて同じ数値で作図する場合に便利です。



スポイトボタンをクリックし、図面上に描画されている要素（線など）を選択すると、その要素の長さや角度などを取り込むことができます。

5 オプション

コマンドの補足の設定をします。

6 説明

プロパティボックスの中で選択されている部分の説明が表示されます。

スタイルツールバーについて

線・文字・色などに関する設定をします。
※選択中のコマンドによって表示が変わります。



1 線幅

線幅を設定します。
クリックすると、線幅が切り替わります。

2 線色

線色を設定します。
クリックすると、線色が切り替わります。

3 線種

線種を設定します。
クリックすると、線種の一覧が表示されます。

≡ 始点・終点の形状

始点・終点の先端を設定します。
クリックすると、始点・終点の先端の一覧が表示されます。

4 文字色

文字色を設定します。
クリックすると、文字色が切り替わります。

5 文字高

フォントサイズを設定します。
クリックすると、フォントサイズが切り替わります。

6 フォント

フォントを設定します。
クリックすると、フォントが切り替わります。

7 文字スタイル

太文字や斜体などのスタイルを設定します。

線幅・線種・文字を任意のスタイルにする場合

線幅

選択枝の最下部にある「線幅設定」から、任意の設定に変更できます。



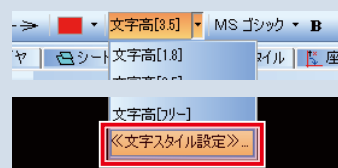
線種

選択枝の最下部にある「線スタイル設定」から、任意の設定に変更できます。



文字

選択枝の最下部にある「文字スタイル設定」から、任意の設定に変更できます。



右クリックメニューについて

操作の確定やよく使うコマンドが搭載されています。

マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



1 確定

現在行っている操作を確定し、次の操作に移ります。

2 オペレーションバック

1つ前の状態、または1つ前の画面に戻ります。

3 初めから

操作を初めからやり直します。

4 移動

要素を選択し、任意の位置に移動します。

5 複写

要素を選択し、任意の位置に複写します。

6 削除

任意の要素を選択して削除します。

7 オフセット入力

基準点から X・Y に入力した数値分移動した位置の座標を入力します。

8 サーチ設定

サーチする要素の設定をします。

9 プロパティ

選択した要素の属性を表示・変更することができます。


※右クリックメニューの項目は、コマンドごとに異なります。


操作を元に戻す / やり直す

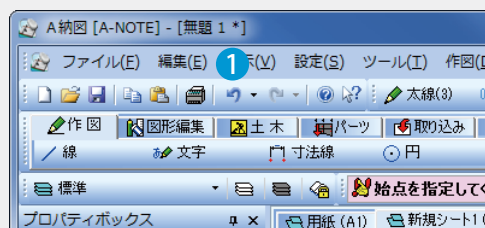
以下の方法で、間違えた操作をやり直すことができます。

図面に反映した操作をやり直す場合

1 確定した操作を取り消したい

[] ボタン




※操作中に [] ボタンをクリックすると、1つ前に確定した操作が取り消される場合があります。



コマンドの途中で操作を間違えた場合

1 1つ前の状態、または1つ前の画面に戻りたい

[右クリック] → [オペレーションバック]

		確定	右ダブルクリック
1		オペレーションバック	Backspace
2		初めから	

2 操作を初めからやり直したい

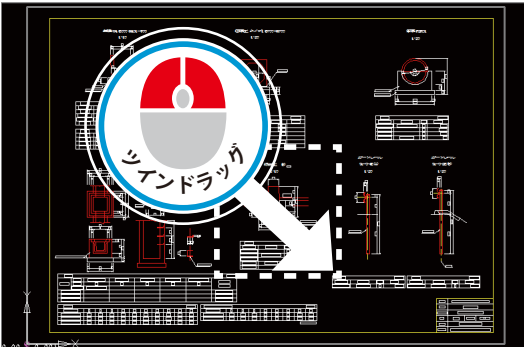
[右クリック] → [初めから] ※プロパティボックスに入力した数値もリセットされる場合があります。

07

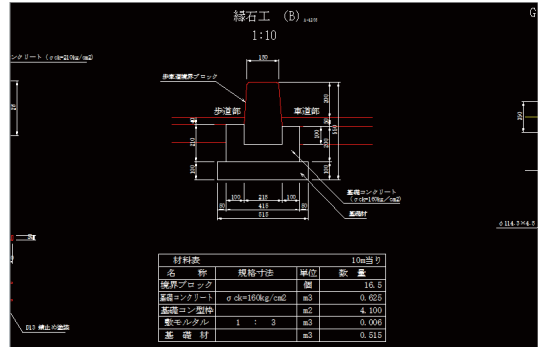
図面を拡大・縮小表示する

ツインドラッグで図面を拡大・縮小表示します。

拡大前



拡大後



特殊なマウス操作について

ツインドラッグ

マウスの右ボタンと左ボタンを同時に押しながら、マウスを「左上」「右上」「左下」「右下」に動かします。

ホイールドラッグ

マウスホイールを押しながらドラッグします。

マウスカーソルが変わり、自由に画面をスクロールできます。

※マウスホイールが付いたマウスをご使用の場合に限り有効な機能です。

マウスホイール

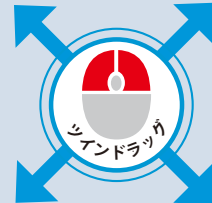
マウスホイールを上下に動かすと、画面を拡大・縮小することができます。

ツインクリック

マウスの右ボタンと左ボタンを同時にクリックすると、クリックした位置が中心に移動します。

図形全体を表示

[図面全体を表示](#)



1つ前に表示していた倍率で表示

ツインドラッグ
した範囲が拡大



上に動かす(前転)
と拡大します

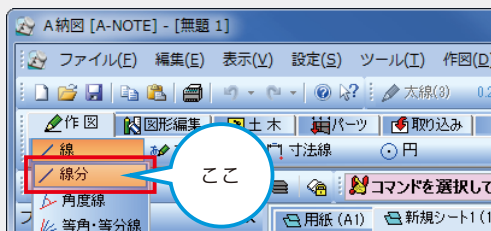
下に動かす(後転)
と縮小します

線を引く

線を引きます。

コマンド

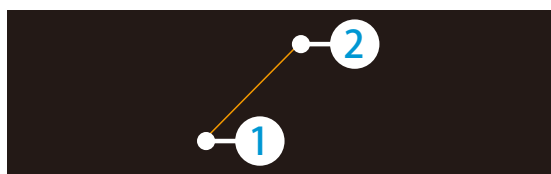
[作図] → [線] → [線分]



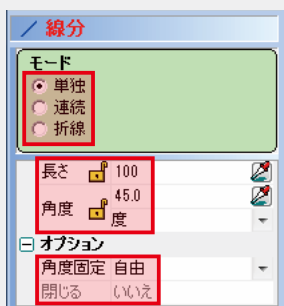
操作手順

A モード：「単独」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 始点と終点をクリックします。



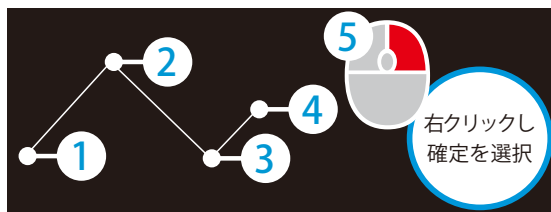
プロパティボックスの設定



- 1 モード
 - A 【単独】
1本の線を描画します。
 - B 【連続】
1本の線を連続して描画します。
 【折線】
折れ線を描画します。
- 2 【長さ】
線の長さを設定します。
【角度】
線の角度を設定します。
- 3 オプション
角度の設定や描画後始点と終点を結ぶなどの設定をします。

B モード：「連続」「折線」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 始点、折点、終点をクリックし、確定します。

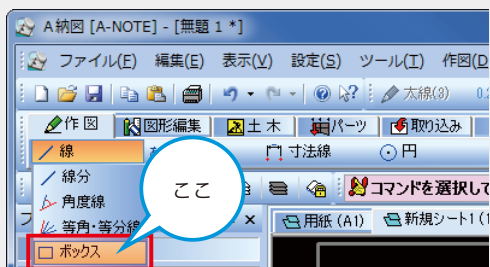


ボックスを描画する

ボックスコマンドで長方形を描画します。

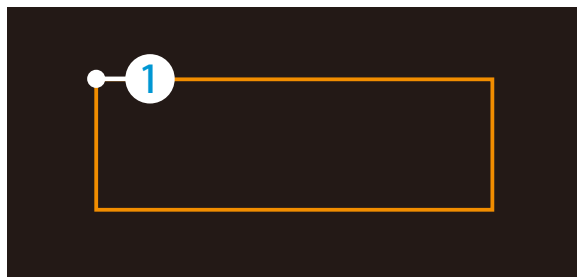
コマンド

[作図] → [線] → [ボックス]

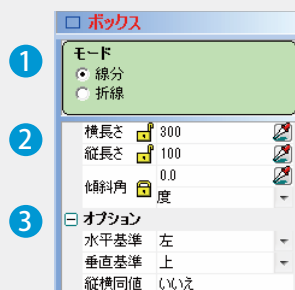


操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 基準点をクリックします。



プロパティボックスの設定



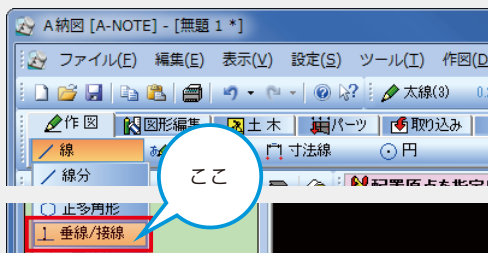
- 1 モード
 【線分】
 線 1 本 1 本を単独線として描画します。
 【折線】
 4 つの線を 1 つの要素として描画します。
- 2 【横長さ】
 横の長さを設定します。
 【縦長さ】
 縦の長さを設定します。
 【傾斜角】
 角度を設定します。
- 3 オプション
 水平・垂直位置の基準の指定や、縦横を同じ長さにする設定をします。

垂線を引く

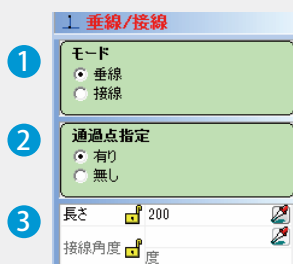
垂線を引きます。

コマンド

[作図] → [線] → [垂線 / 接線]



プロパティボックスの設定

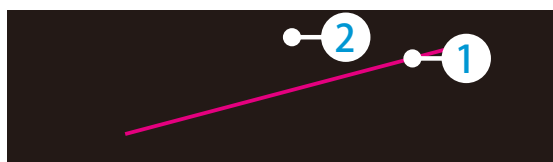


- 1 モード
【垂線】 垂線を描画します。
【接線】 接線を描画します。
- 2 通過点指定
A 【有り】 基準となる線に対して垂直になる線が通る点（通過点）を指定し、始点と終点をクリックして作図します。
B 【無し】 選択図形上の点を始点として作図します。
- 3 【長さ】 長さを設定します。
【接線角度】 接線の角度を設定します。

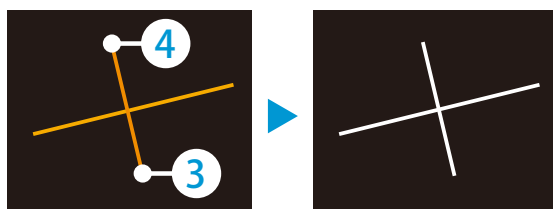
操作手順

A 通過点指定：「有り」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 基準となる線をクリックし、その線に対して垂直になる線が通る点（通過点）をクリックします。

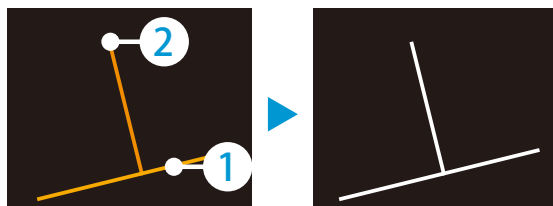


- 4 始点と終点をクリックします。



B 通過点指定：「無し」の場合

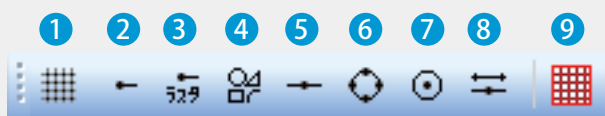
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 基準点となる線をクリックし、終点をクリックします。



スナップツールバーについて

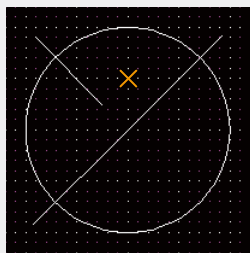
スナップ機能を使うと、図形を作図する時に、特定の点に吸着させて描画できます。

スナップツールバーの各機能について



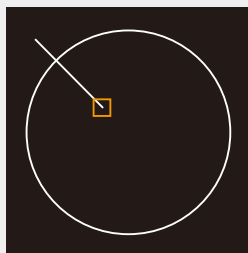
1 グリッド

グリッド・用紙枠に吸着します。



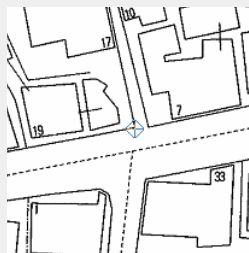
2 端末

端点・交点・点に吸着します。



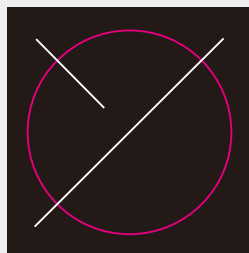
3 ラスタ端点

ラスタデータの端点や、データ内の端点に吸着します。



4 図面要素

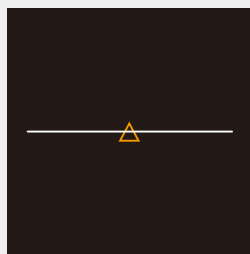
図形要素として吸着します。



※選択しているコマンドによって変わらないこともあります。

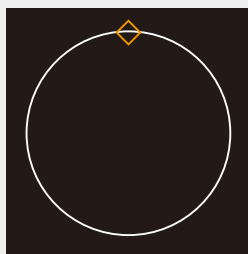
5 中点

中点（中心）に吸着します。



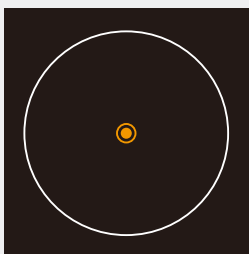
6 円弧4分割点

円・円弧・楕円・楕円弧の4分割点（上下左右）に吸着します。



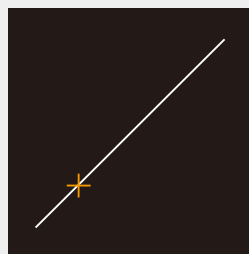
7 中心点

円・円弧・楕円・楕円弧の中心点に吸着します。



8 線上点

線上に吸着します。



9 グリッド On/Off

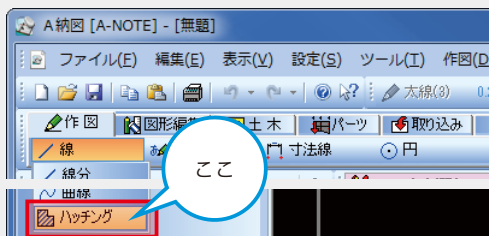
グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。

ハッチングをかける（塗り）

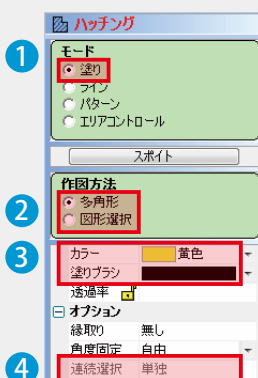
指定した範囲を塗り潰しや斜線で埋めていきます。

コマンド

[作図] → [線] → [ハッチング]



プロパティボックスの設定



1 モード

【塗り】塗りのハッチングを描画します。

2 作図方法

A 【多角形】 図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。

B 【図形選択】 図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。

3 【カラー】色を設定します。

【塗りブラシ】ブラシを設定します。

4 オプション

【連続選択】図形の選択方法を設定します。

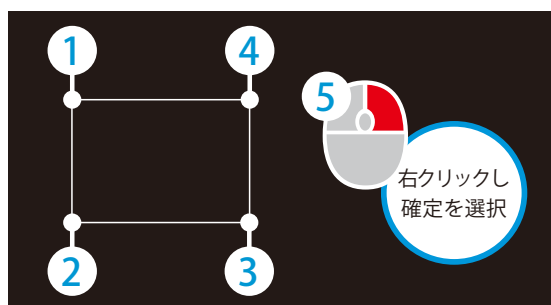
単独：図形を単独で選択します。

連続：図形を連続で選択します。

操作手順

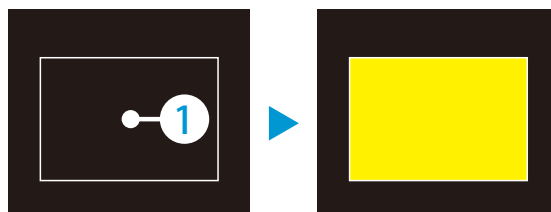
A 作図方法：「多角形」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする範囲をクリックします。



B 作図方法：「図形選択」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする図形の中心をクリックします。
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。

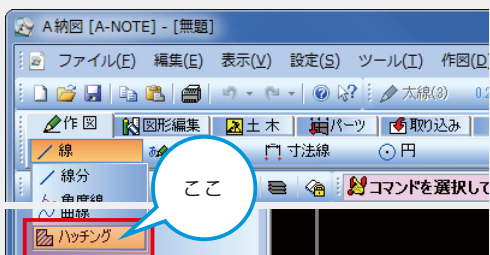


ハッチングをかける (ライン)

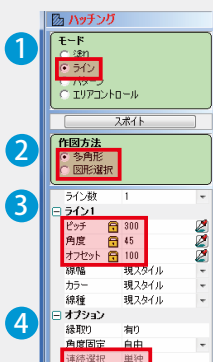
指定した範囲を塗り潰しや斜線で埋めていきます。

コマンド

[作図] → [線] → [ハッチング]



プロパティボックスの設定



1 モード

【ライン】ラインのハッチングを描画します。

2 作図方法

A【多角形】図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。

B【図形選択】図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。

3 【ライン数】ハッチングするラインの数を設定します。

【ピッチ】ライン間の距離を設定します。

【角度】ラインの角度を設定します。

【オフセット】基準点からラインまでの距離を設定します。

4 オプション

【連続選択】図形の選択方法を設定します。

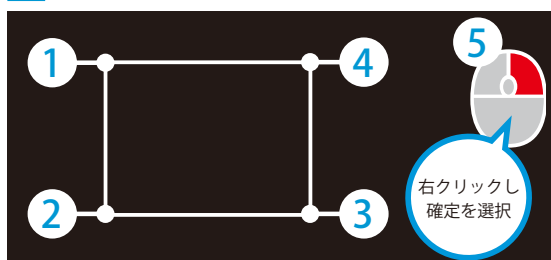
単独：図形を単独で選択します。

連続：図形を連続で選択します。

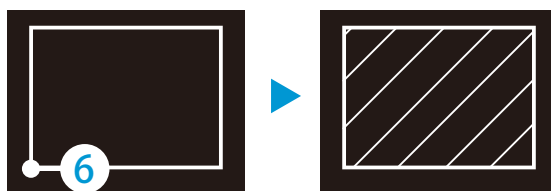
操作手順

A 作図方法：「多角形」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする範囲をクリックします。

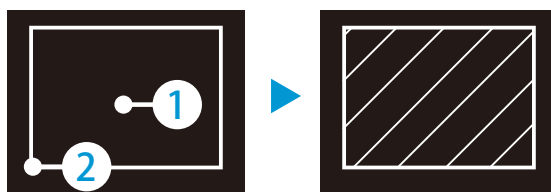


- 4 基準点をクリックします。



B 作図方法：「図形選択」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする図形の中心をクリックし、基準点をクリックします。
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。

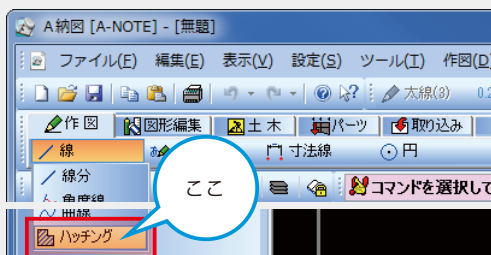


ハッチングをかける（パターン）

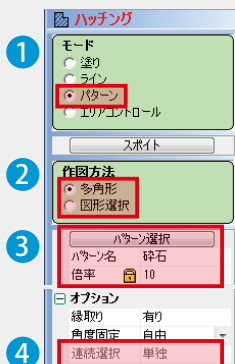
指定した範囲を振り潰しや斜線で埋めていきます。

コマンド

[作図] → [線] → [ハッチング]



プロパティボックスの設定

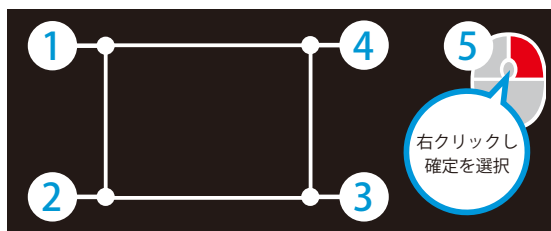


- 1 モード
【パターン】パターンのハッチングを描画します。
- 2 作図方法
A 【多角形】図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。
B 【図形選択】図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。
- 3 【パターン選択】ハッチングパターンを選択します。
【パターン名】パターン名を表示します。
【倍率】パターンの倍率を指定します。
- 4 オプション
【連続選択】図形の選択方法を設定します。
単独：図形を単独で選択します。
連続：図形を連続で選択します。

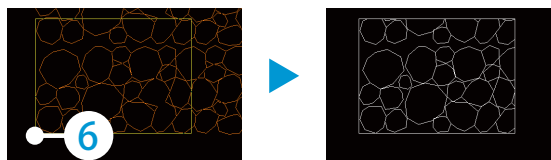
操作手順

A 作図方法：「多角形」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする範囲をクリックします。

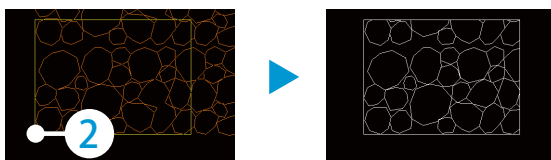
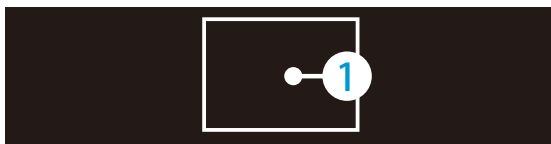


- 4 基準点をクリックします。



B 作図方法：「図形選択」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする図形の中心をクリックし、基準点をクリックします。
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。

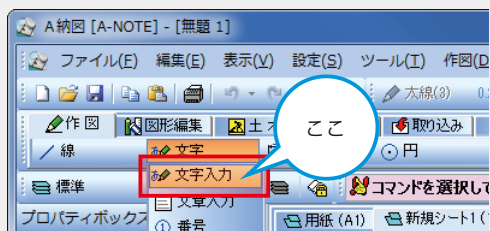


文字を入力する

指定した文字を配置します。

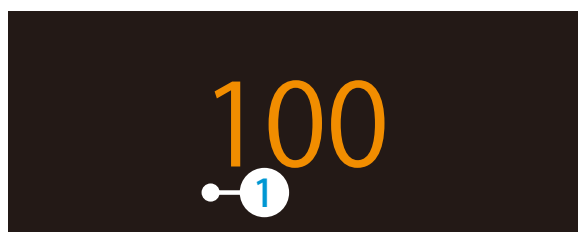
コマンド

[作図] → [文字] → [文字入力]

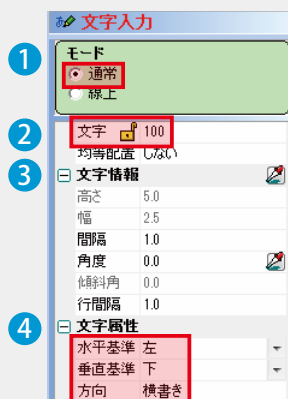


操作手順

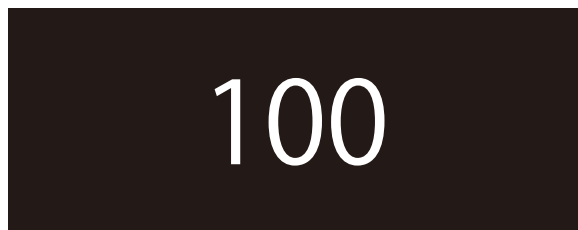
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 文字を配置する位置をクリックします。



プロパティボックスの設定



- 1 モード
【通常】配置位置を指定して文字を作図します。
【線上】選択した線上に文字を作図します。
- 2 【文字】配置する文字を入力します。
【均等配置】文字列を均等に配置する設定をします。
- 3 文字情報
文字の詳細を設定します。
- 4 文字属性
【水平基準】水平位置の基準を設定します。
【垂直基準】垂直位置の基準を設定します。
【方向】文字の描画方向を設定します。

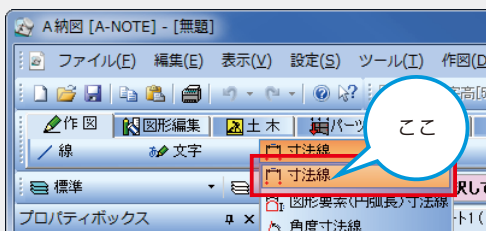


寸法線を描画する

寸法線を描画します。

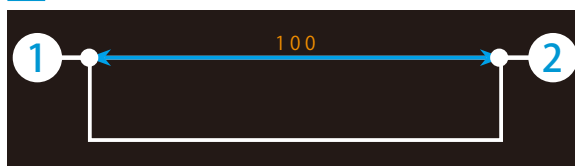
コマンド

[作図] → [寸法線] → [寸法線]



操作手順

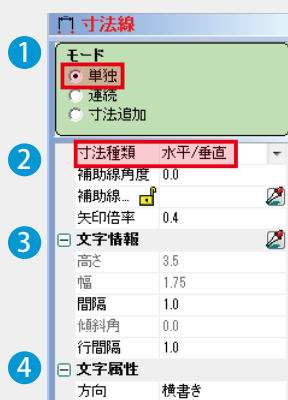
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 寸法を出す辺の両端をクリックします。



- 4 寸法線の描画位置をクリックします。



プロパティボックスの設定



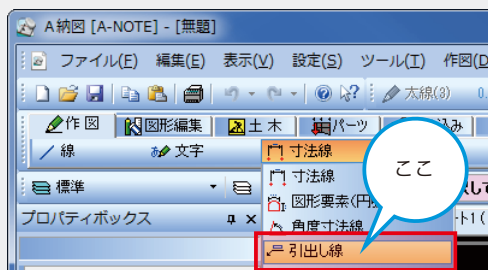
- 1 モード
【単独】寸法線を作図します。
【線上】連続して寸法線を作図します。
【寸法追加】すでに作図されている寸法線に寸法を追加します。
- 2 【寸法種類】寸法種類を選択します。
【補助線角度】寸法補助線の角度を設定します。
【補助線長さ】寸法補助線の長さの最大値を設定します。設定した値よりも長く描画できません。
【矢印倍率】矢印の倍率を設定します。
- 3 文字情報
文字の設定します。
- 4 文字属性
文字の描画方向を設定します。

引出し線を描画する

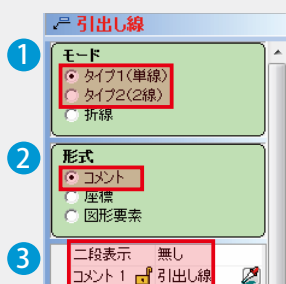
引出し線を作図します。

コマンド

[作図] → [寸法線] → [引出し線]



プロパティボックスの設定



1 モード

A 【タイプ1(単線)】

1つの線で引出し線を描画します。

B 【タイプ2(2線)】

2つの線で引出し線を描画します。

2 形式

【コメント】

コメントを描画します。

【座標】

座標を描画します。

【図形要素】

図形要素の情報を描画します。

3 【二段表示】

「有り」「無し」のいずれかを選択します。

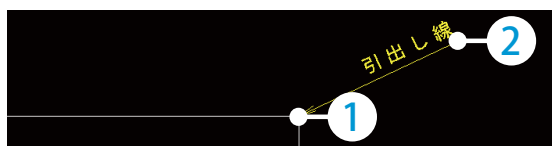
【コメント1】

上段、下段に表示するコメントを設定します。

操作手順

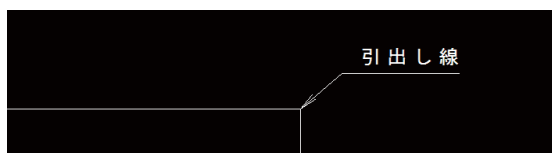
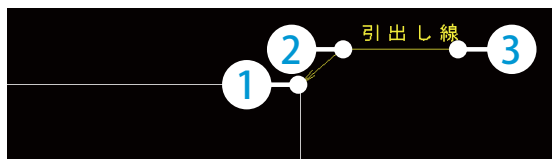
A モード：タイプ1(単線)の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 引き出し位置とコメントを表示する位置をクリックします。



B モード：タイプ2(2線)の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 引き出し位置をクリックし、通過点とコメントを表示する位置をクリックします。

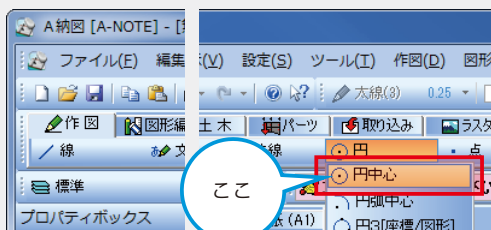


円を描画する

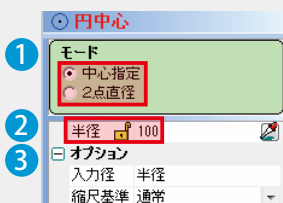
円を描画します。

コマンド

[作図] → [円] → [円中心]



プロパティボックスの設定

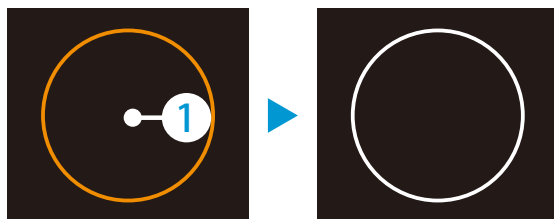


- 1 モード
 - A 【中心指定】
中心点を指定して円を作図します。
 - B 【2点直径】
指定した2点を直径とする円を作図します。
- 2 【半径】
円の半径を設定します。
- 3 オプション
 - 【入力径】
半径・直径の切り替えをします。
 - 【縮尺基準】
縮尺の基準を設定します。

操作手順

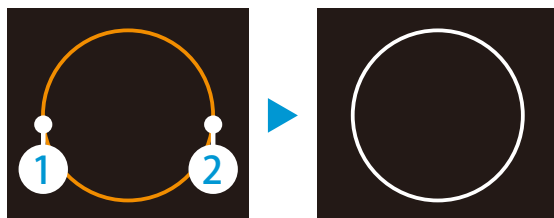
A モード：「中心指定」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 円を配置する位置をクリックします。



B モード：「2点直径」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 基準点をクリックし、円の直径となる点をクリックします。

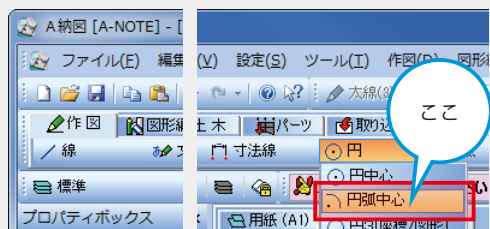


円弧を描画する

円弧を描画します。

コマンド

[作図] → [円] → [円弧中心]



プロパティボックスの設定



1 モード

A 【中心指定】

中心点を指定して円を作図します。

B 【2点直径】

指定した2点を直径とする円を作図します。

2 【半径】

円の半径を設定します。

【始角】

円の中心からの始点の角度を設定します。

【終角】

円の中心からの終点の角度を設定します。

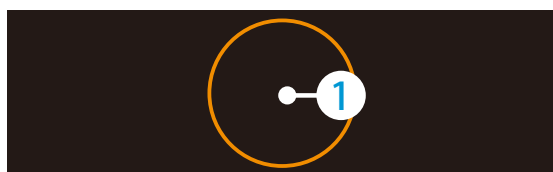
【円弧長】

円弧の長さを入力します。

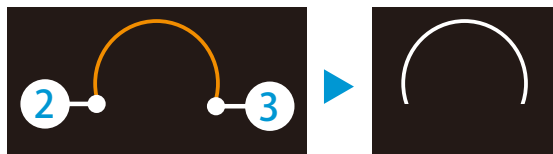
操作手順

A モード：「中心指定」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 円を配置する位置をクリックします。

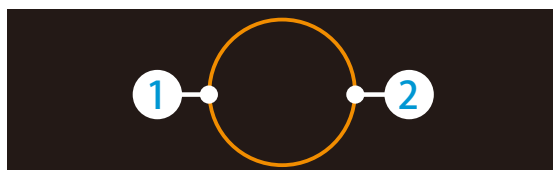


- 4 円弧の始点と終点をクリックします。

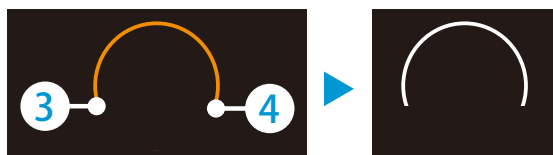


B モード：「2点直径」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 円を描画する位置をクリックします。



- 4 円弧の始点と終点をクリックします。

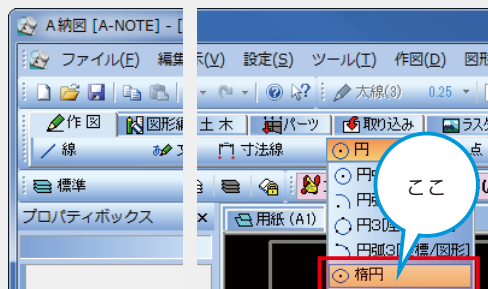


楕円を描画する

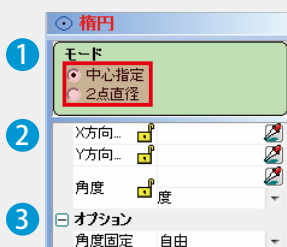
楕円を描画します。

コマンド

[作図] → [円] → [楕円]



プロパティボックスの設定



1 モード

A 【中心指定】

中心点を指定して楕円を作図します。

B 【2点直径】

指定した2点を直径とする楕円を作図します。

2 【X方向】

X方向の半径を設定します。

【Y方向】

Y方向の半径を設定します。

【角度】

角度を設定します。

3 オプション

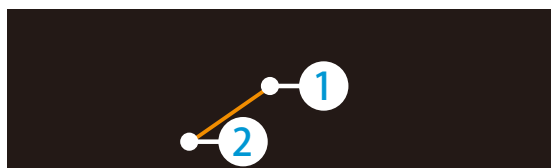
【角度固定】

角度固定の設定をします。

操作手順

A モード：「中心指定」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 円の中心点と、X径の端点をクリックします。

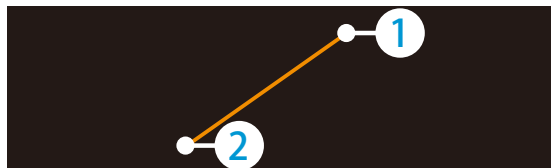


- 4 Y径の端点をクリックします。



B モード：「2点直径」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 端点と、X径の端点をクリックします。



- 4 Y径の端点をクリックします。

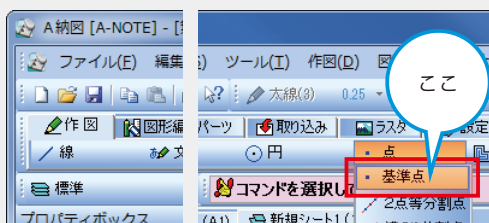


基準点を描画する

点を描画します。

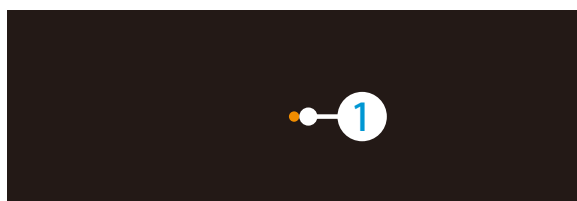
コマンド

[作図] → [点] → [基準点]



操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 点を配置する位置をクリックします。



プロパティボックスの設定

1



1 点属性

【回転角】

点の回転角度を入力します。

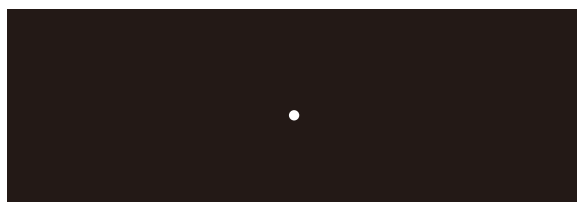
【倍率】

倍率を入力します。

※実点の場合は、倍率の設定が反映されません。

【高さ】

高さを入力します。

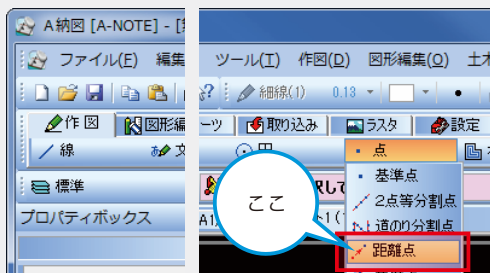


距離点を描画する

指定した距離間隔で点を描画します。

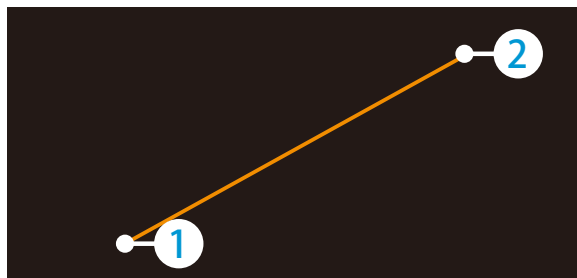
コマンド

[作図] → [点] → [距離点]

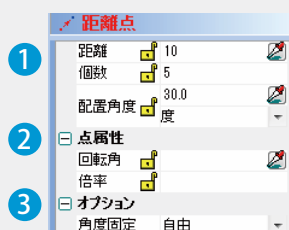


操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 始点と通過点をクリックします。



プロパティボックスの設定



- 1 **【距離】**
点と点の距離を設定します。
【個数】
描画する点の数を設定します。
【配置角度】
始点から通過点への角度を設定します。
- 2 **点属性**
【回転角】
回転角を設定します。
【倍率】
倍率を設定します。
- 3 **オプション**
【角度固定】
角度固定を設定します。

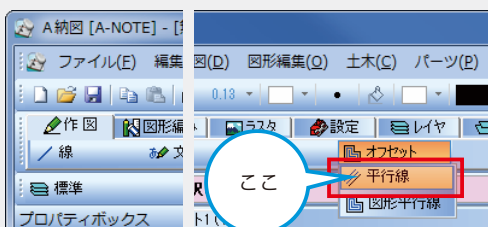


平行線を描画する

繰り返し平行する要素を描画します。

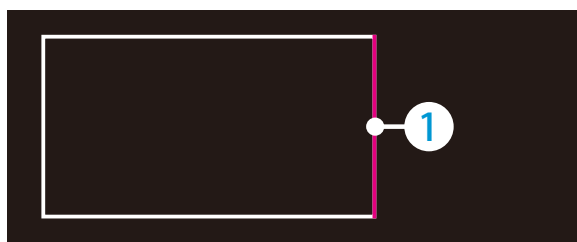
コマンド

[作図] → [オフセット] → [平行線]

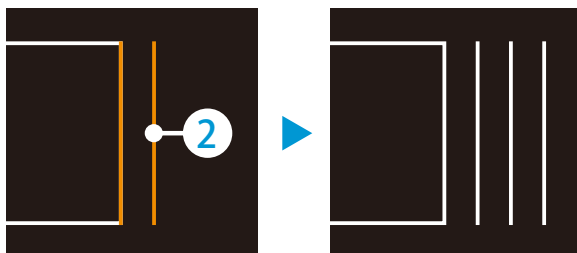


操作手順

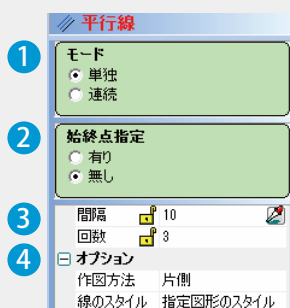
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 要素をクリックします。



- 4 平行線を描画する位置でクリックします。

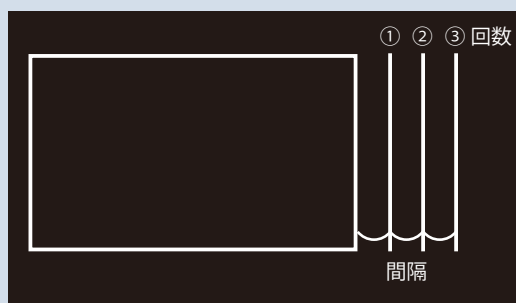


プロパティボックスの設定



- 1 モード
【単独】
選択した要素の平行線を 1 回だけ描画します。
【連続】
選択した要素の平行線を連続で描画します。
- 2 始終点指定
【有り】
始点と終点を指定して描画します。
【無し】
始点と終点を指定せずに描画します。
- 3 【間隔】
間隔を設定します。
【回数】
平行線を作成する本数を設定します。
- 4 オプション
作図方法や線のスタイルを設定します。

平行線の間隔と回数について

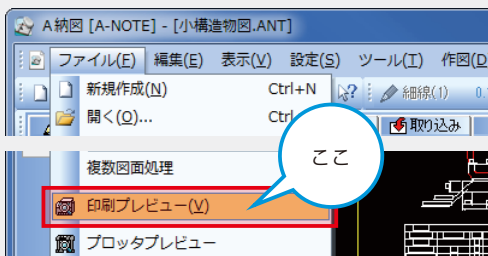


範囲を指定して図面を印刷する

範囲を指定して図面を印刷します。

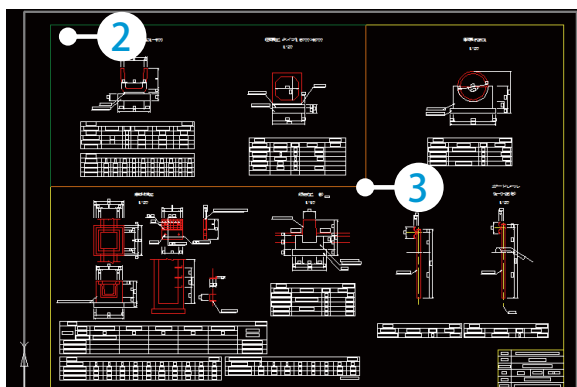
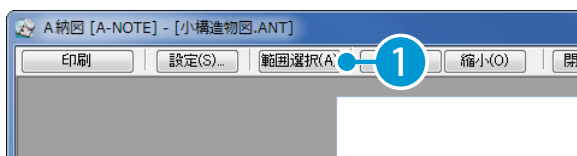
コマンド

[ファイル] → [印刷プレビュー]

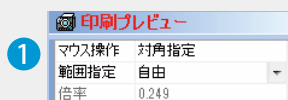


操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 「範囲選択」をクリックします。
- 3 プロパティボックスで設定します。
- 4 印刷する範囲の左上と右下をクリックします。

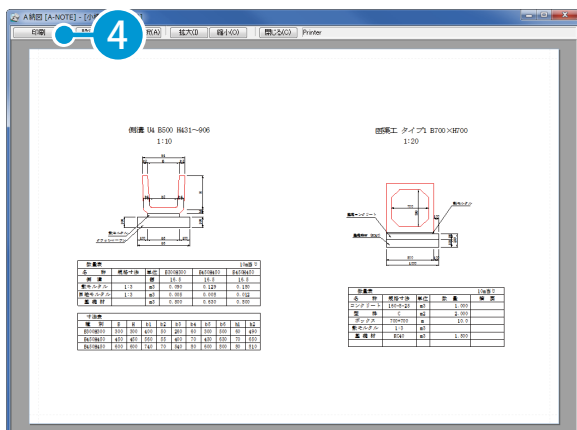


プロパティボックスの設定



- 1 【マウス操作】
選択指定時のマウスの操作方法を設定します。
- 【範囲指定】
印刷範囲の指定方法を設定します。
- 【自由】
印刷範囲を設定します。
- 【用紙比率】
用紙の縦横比を固定した状態で、印刷範囲を指定します。
- 【用紙サイズ】
印刷用紙サイズの枠が表示されるので、配置位置を指定します。
- 【倍率】
印刷範囲の倍率を設定します。

- 5 「印刷」をクリックします。

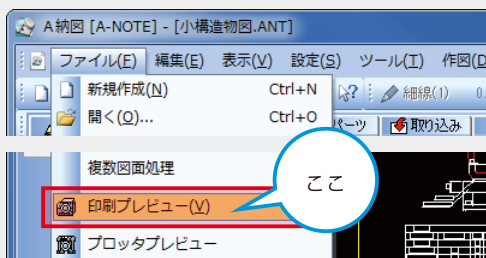


用紙サイズを変えて印刷する

用紙サイズを変えて図面を印刷します。

コマンド

[ファイル] → [印刷プレビュー]



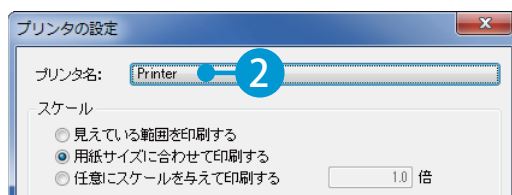
操作手順

1 コマンドを選択します。

2 [設定] をクリックします。



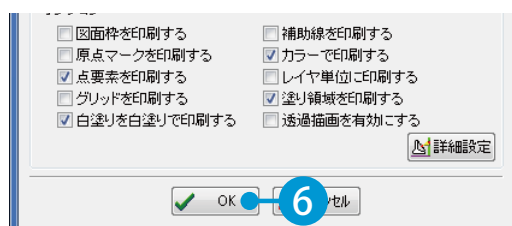
3 [プリンタ名] をクリックします。



4 用紙サイズを選択します。



5 プリンタの設定を終了します。

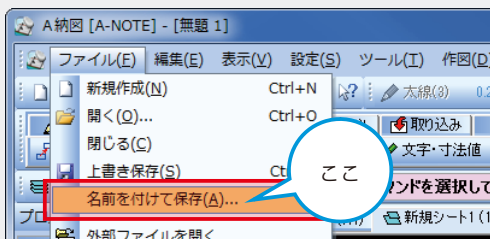


図面を保存する

図面を保存します。

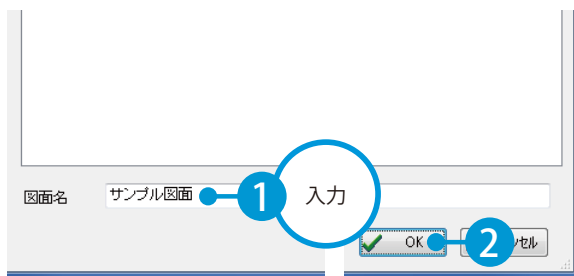
コマンド

[ファイル] → [名前を付けて保存]



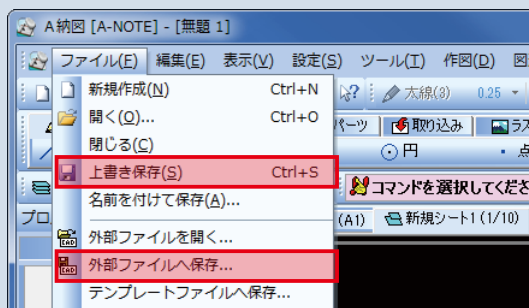
操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 任意の図面名を入力します。



図面の保存について

- 現在開いているファイルを保存する
[ファイル] → [上書き保存]
- 外部に保存する
[ファイル] → [外部ファイルへ保存]
※拡張子が ANT、dwg、dxf、hoc、jwc、jww、jws、jwk、RKZ、p21、sfc、p2z、sfz など



ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDFマニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

検索

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601
2023 年 6 月 27 日 発行

このマニュアルは、A 納図 [A-NOTE] Ver.5.48.00 の画面で作成しています。